

ESET Inspect

オンラインヘルプ補足資料

■本書について

- 本資料は、ESET Inspect（以降、EI）のオンラインヘルプの内容を補完する位置づけの資料です。EIを使用する際には、下記オンラインヘルプも併せて参照ください。

https://help.eset.com/ei_cloud/en-US/

- 本資料には、ライセンスの管理ポータルサイトである ESET Business Account（以降、EBA）の基本的な機能や用語に関する説明はありません。EBAの基本的な機能や用語については、EBAのマニュアルやオンラインヘルプを参照ください。
- 本資料には、ESET製品を管理する ESET PROTECT（以降、EP）の基本的な機能や用語に関する説明はありません。EPの基本的な機能や用語については、EPのマニュアルやオンラインヘルプを参照ください。
- 本資料は、本資料作成時の製品仕様に基づき作成されています。EIのバージョンアップなどにより、記載内容とEIに搭載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また本資料の内容は、改訂などにより予告なく変更することがあります。
- 本資料の著作権は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社に帰属します。本資料の一部または全部を無断で複写、複製、改変することはその形態を問わず、禁じます。
- ESET、ESET PROTECT、ESET Inspect、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET Endpoint Security、ESET File Security、ESET Server Security、は ESET, spol. s. r. o. の商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OSは、米国及びその他の国におけるApple Inc.の登録商標または商標です。
- Red Hatは、米国及びその他の国におけるRed Hat, Inc.またはその子会社の登録商標または商標です。
- SUSEは、米国及びその他の国におけるSUSE LLCの登録商標または商標です。

■注意事項

オンラインヘルプの注意事項を以下に記載します。
 オンラインヘルプに記載されている内容と異なる場合、本資料に記載された内容を正とします。

[要件とサポート対象の製品]

- 日本では以下のオペレーティングシステムがサポートされます。

OS	EI Connector
Windows 10 ※1	○
Windows 11	○
Windows Server 2012	○
Windows Server 2012 R2※2	○
Windows Server 2016	○
Windows Server 2019	○
Windows Server 2022	○
Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.6 以降	○
Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 8	○
Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 9	○
Cent OS 7.6 以降	○
Alma Linux 8	○
Alma Linux 9	○
Rocky Linux 8	○
Rocky Linux 9	○
SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 15	○
Amazon Linux2	○
Ubuntu 18.04 Desktop	○
Ubuntu 20.04 Desktop	○
Ubuntu 22.04 Desktop	○
macOS 10.15 Catalina	○
macOS 11 Big Sur	○
macOS 12 Monterey	○
macOS 13 Ventura	○
macOS 14 Sonoma	○

※1 Windows10 21H1 以前の OS はサポート対象外

※2 2014年4月リリースの更新プログラム(KB2919355)が必要

- サポートされている言語は、日本語(日本)になります。
- 日本では以下のバージョン以降の ESET 製品がサポートされています

製品	バージョン
ESET Endpoint アンチウイルス / Security	11.0.2032.1 以降
ESET Endpoint アンチウイルス for macOS	6.11.606.0 以降
ESET Endpoint Security for macOS	7.3.3600.0 以降
ESET Server Security for Windows Server	10.0.12014.1 以降
ESET Server Security for Linux	10.2.41.0 以降
ESET Endpoint アンチウイルス for Linux	10.2.2.0 以降

[ライセンス管理について]

- オンラインヘルプに記載されている ESET Business Account(EBA)によるライセンス管理が必要となります。
EBA の利用方法については、「ESET Business Account 開設手順書」を参照してください。
- オンラインヘルプに記載されている MSP は日本ではご利用になれません。

[データセンターロケーションの選択]

- EP/EI をアクティベーションする作業の中でデータセンターロケーションを選択する必要があります。必ず「JAPAN」を選択してください。
EP/EI のアクティベーション手順については、「ESET Business Account 開設手順書」を参照してください。
- データセンターは完全に分離されています。誤って「JAPAN」以外のデータセンターロケーションを選択した場合、設定を残したまま別のデータセンターへ変更することはできません。データセンターロケーションを変更するには、EP/EI を削除して、EP/EI のアクティベーションを最初から行っていただく必要があります。

[クラウド対象ライセンスについて]

- 日本で EI を利用できるのは以下のライセンスです。
 - ・ ESET PROTECT Enterprise
 - ・ ESET PROTECT Elite

[Terminal 接続について]

- 本サービスの機能である Terminal 接続ですが、二要素認証を有効にしないと利用できません。手順やサポートされている認証クライアントは以下のオンラインヘルプをご参照ください。
弊社では ESET Secure Authentication (以降、ESA) でのみ動作確認を行っています。

EBA オンラインヘルプ：

<https://help.eset.com/eba/ja-JP/two-factor-authentication.html>

改訂日 2024/3/27

目次

1	サポート対象外の内容	6
1.1	データセンターロケーション	6
1.2	管理対象外の製品	6
1.3	サポート対象外の ESET ツール	6
1.4	サポート対象外の環境	6
1.5	サポート対象外の EI Connector インストーラー	6
2	EI 通信要件について	7
2.1	通信要件	7

1 サポート対象外の内容

ここでは、日本でサポートの対象外となる製品、ツール、機能について記載いたします。

1.1 データセンターロケーション

JAPAN 以外のデータセンターロケーションの利用はサポートされていません。

1.2 管理対象外の製品

以下の製品を EI で管理することはサポートされていません。

- ・ 注意事項に記載されているバージョン未満の製品
- ・ 日本ではリリースしていない製品

1.3 サポート対象外の ESET ツール

以下の ESET ツールは日本ではサポートされておらず、ご利用になれません。

- ・ ESET AV Remover

1.4 サポート対象外の環境

ARM64 プロセッサの PC への EI Connector のインストール及び管理はサポートされていません。

1.5 サポート対象外の EI Connector インストーラー

ESET 社ダウンロードサイトや弊社が公開しているダウンロードサイトにあるインストーラーは利用できません。EI を利用される際は EP よりソフトウェアインストールタスクを実行するか、Live インストーラーをご利用ください。

2 EI 通信要件について

ここでは、本サービスの通信要件について記載いたします。

2.1 通信要件

本サービスが正しく機能するには次の通信要件を満たしている必要があります。

ドメイン	ポートタイプ/ ポート番号	説明
eba.eset.com	TCP / 443	EBA
identity.eset.com	TCP / 443	ESET Identity Server
inspect.eset.com	TCP / 443	ESET Inspect
jp01.inspect.eset.com	TCP / 443	ESET Inspect Web コンソール
jp01.agent.edr.eset.systems	TCP / 8093	ESET Inspect Connector

!注意

本サービスが正しく機能するように、これらのドメインとポートがネットワークファイアウォールで許可されている必要があります。